


「ふね遺産」(応募様式) : A4一枚に収め、それ以上は別途資料添付して下さい。

No.(*)	内容	備考
1. 対象物・資料の名称・所属 または所有者	ボール進水方式 三菱造船株式会社(三菱重工業下関造船所)	ボール進水方式は直径約 90mm の鋼製ボールを使用した進水方式であり、現在国内 9 造船所の 12 本の船台で活用されている。 進水法としては他にヘット進水、ローラー進水、台車進水、浮上進水が有る。
2. 対象物の作成・存在時期	昭和 22 年 12 月三菱日本重工業(株)横浜造船所にて考案、実用化されていたが、三菱重工業(株)下関造船所に一括移管され、昭和 56 年 2 月以降現在も活用中	貨客船「こがね丸」で 1 条 2 列のボール進水方式が初めて採用されたが、船舶の大型化と共にボール列数も増え 5 列が横浜造船所の最終方式となった。その 5 列ボール進水方式が下関造船所に移管された
3. 現状 (写真添付)		鋼製ボールは下記写真に示す保距具に収納され固定台上の軌条板に敷設される。 
4. ふね遺産認定基準の該当項目(**)	【認定対象】(2) 【認定基準】(1)	
5. 歴史的・工学技術的意義	世界で初めて考案された進水方式であり、日本の造船業の発展の一翼を担った。	
6. 参考資料・文献 (本表に収まらない場合は別途添付する)	ボール式進水装置に就いて : 平尾 廣治 造船協會會報 第 83 號 ボール進水法 : 平尾 広治 船の科学 1962. 8	